



日本歯科大学校友会 学術フォーラム2025開催のお知らせ

この度、日本歯科大学校友会企画事業として「学術フォーラム2025」を対面式で開催いたします。講演、テーブルクリニック、ランチョンセミナー、ミニデンタルショーを盛り込んだ内容になっています。

お好みの演題を時間帯でチョイスして参加できるこの方式は、本学校友会独自のものです。他大学からも注目を浴びており、幅広い年代の先生方が明日からの臨床に役立つものと確信しております。また今回の演者は、本学出身や職員の先生方で、特に最近教授に就任された先生方や、現教授を中心に講演をしていただきます。

テーブルクリニックも実習を行いながら正しい理論とテクニックを習得することができます。

本学学生および110回から113回卒業の校友会入会者を対象に参加無料枠も設けております。また、今回は、昨年より休憩時間を少し長く設定し、情報交換や、ミニデンタルショーの見学、懇親の場としてもご活用いただきたいと思っております。

皆様奮ってのご応募・ご参加お待ちしております。

とき／令和7年3月23日(日) ところ／日本歯科大学生命歯学部本館3F・7F

●演者ならびに演題

最新の理論や技術、整理しておきたい知識などを企画しました。希望の演題を自由にお選び下さい。

テーブルクリニックはどなたでも聴講可能ですが、実習希望者は各回の定員をご確認のうえお申込下さい。

(申込・入金のお両方が済んだ方から先着とさせていただきます。※校友会会員優先)

		氏名	卒回	所属	職階	演題
131講堂	講演1	倉治竜太郎	101	生命歯学部 歯周病学講座	講師	ペリオドンタル・デブライドメントを徹底攻略！ ～イチチから見直す歯周基本治療～
	講演3	小倉 晋	87	附属病院 口腔インプラント診療科	教授	インプラント治療における当科の役割 ～25年間の変遷～
	講演5	道川 誠	特	新潟生命歯学部 高齢者医療学	教授	アルツハイマー病の発症・進行予防を目指した「攻めの歯科医療」 ～基礎研究から見えてきた歯科医療の新たな可能性～
	講演7	岡田 智雄	73	附属病院 総合診療科4	教授	しない！させない！ハラスメント ～医療分野ハラスメントのメカニズムと対応法～
135講堂	講演2	隅田 由香	86	生命歯学部 歯科補綴学第1講座	教授	歯科補綴治療におけるデジタル技術の使用
	講演4	丸茂 義二	69	日本歯科大学	名誉教授	舌骨の位置で顎位を制御する
	LS	宮川亜理子	他	Haleon ジャパン株式会社 (旧グラクソ・スミスクライン・ コンシューマー・ヘルスケア・ ジャパン株式会社)	エキスパート セールス	デンチャーケアにおける義歯安定剤と義歯洗浄剤について
	講演6	猪子 芳美	73	新潟病院 総合診療科	教授	睡眠時無呼吸に対する歯科的対応 ～口腔内装置治療の勘所～
	講演8	石井 良昌	79	日本大学松戸歯学部 口腔外科学講座	教授	オーラルフレイルと臨床歯科栄養学
7F 臨床実習室	TC1	村樫 悦子	85	生命歯学部 歯周病学講座	講師	日常の歯周治療に歯科用炭酸ガスレーザーを使ってみませんか？
	TC2	飯島 孝守	—	附属病院 歯科技工科	医療職員 (歯科技工士)	プロビジョナルレストレーションの真髄 ～白歯編～
	TC3	西田 太郎	98	生命歯学部 歯科保存学講座	講師	コードレスモーターを用いた NiTi ロータリーファイルによる根管治療

※TC=テーブルクリニック LS=ランチョンセミナー

●ミニデンタルショー【9:00～17:00】場所：3F 132講堂、134講堂

※校友会ホームページまたはFAXにてお申込ください。HPアドレス⇒<https://koyu-ndu.gr.jp>

●タイムスケジュール【開催日：令和7年3月23日(日)】

講演時間	本館3階					本館7階			
	131講堂		132講堂	133講堂	134講堂	135講堂			
9:00~10:20	講演1	倉治竜太郎	ミニデンタル ショー	カフェ コーナー 校友会 ブース 大学紹介 歯髄バンク 紹介	ミニデンタル ショー	講演2	隅田 由香		
10:20~10:45	休憩25分					休憩25分			
10:45~12:05	講演3	小倉 晋				講演4(90分)	丸茂 義二	TC1	村樫 悦子
12:05~12:30	休憩25分					休憩15分	休憩15分		
12:30~13:30						LS	宮川亜理子		
13:00~13:45						休憩15分			
13:45~15:05	講演5	道川 誠				講演6	猪子 芳美	TC2	飯島 孝守
15:05~15:30	休憩25分					休憩25分		休憩15分	
15:30~16:50	講演7	岡田 智雄				講演8	石井 良昌	TC3	西田 太郎
16:50~17:00	休憩10分					休憩10分			

●ミニデンタルショー〔場所：3F〕9:00~17:00

●カフェコーナー、校友会ブース、大学紹介、歯髄バンク紹介 3階 133講堂

学術フォーラム2025申込方法について

参加費無料枠も設けております
皆様のご参加をお待ちしております

1. 受講料：事前申込 期限：令和6年12月9日(月)~令和7年3月17日(月)

事前	当日	対象者(受講資格)
¥12,000	¥15,000	校友会会員
¥20,000	¥25,000	非会員(校友会未入会者、他校卒)
¥5,000	¥8,000	歯科衛生士、歯科技工士
無料	無料	110回~113回の本学卒業生(校友会会員) 大学院生、学生、本学附属病院および新潟病院 臨床研修医(本学校友に限る) ※当日受付にて身分証明書をご提示下さい。

2. 申込方法

- FAX：申込用紙に必要事項を記入のうえ、送信してください。
申込用紙は校友会ホームページからダウンロードできます。
- 校友会ホームページ：学術フォーラム申込フォームからお申込みください。
申込用紙のQRコードからホームページにアクセスできます。
- メール：申込用紙と同様の内容を明記の上、校友会のアドレスにお送りください。



振込確認後に受講票をお送りいたします。なお、お申込日から1週間以内にお振込の確認ができない場合はキャンセルとさせていただきます。

3. 振込

受講資格ごとに所定の金額を下記までお振込ください。

振込先：三菱UFJ銀行 神楽坂支店 口座番号(普) 0735944
日本歯科大学校友会 会長 渡邊儀一郎
振込締切：令和7年3月17日(月)

*振込手数料は各自でご負担ください。なお、お振込いただいた受講料は原則として返金できません。止むを得ずご欠席される場合には、代理受講可能です。代理の方は、申込者と同等の受講資格を証明できるものをお持ちください(受講資格が異なる場合は差額を徴収させていただきます)。確認できない場合には、非会員扱いとなります。

4. その他

① テーブルクリニック

受講は申込（振込完了）順に、校友会会員を優先的に受付けます。

② ランチョンセミナーについて

受講申込者に限り昼食をご用意します（先着100名まで）。

③ 日歯生涯研修カード

日本歯科医師会生涯研修事業に認定されております。研修カード（ICカード）をご持参ください。

④ 校友会各種手続き

当日は会場にて入会や会費未納分の支払い手続き等が可能です。この機会をご利用ください。
※109回卒（卒業時に入会）の先生は、令和6年5月をもって会費一括納入期間が終了しました。
未納期間が2年を経過した場合には退会となりますのでご注意ください。

5. 申込・問い合わせ先

〒102-8159

東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学校友会

TEL 03-3261-8971 / FAX 03-3264-8745

アドレス honbu@koyu-ndu.gr.jp 校友会ホームページ <http://koyu-ndu.gr.jp/home/>

講演1 (131講堂 9:00~10:20)

ペリオドンタル・デブライドメントを徹底攻略！

～イチから見直す歯周基本治療～

日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座 講師 倉治 竜太郎



歯周治療の成功には、細菌性プラークや歯石の確かな除去が不可欠であり、従来より、こうした処置は「スケリング・ルートプレーニング（SRP）」と呼ばれてきました。特にルートプレーニングは、汚染セメント質除去と根面の滑沢化を目的としますが、現在、その意義はかつて期待されていたほど重要でなく、また完全な歯石除去が歯周ポケット閉鎖に必須ではないとも考えられています。

一方で、意図してセメント質除去を行うことなく、愛護的な器具操作によって歯面の沈着物を除去する

行為を「ペリオドンタル・デブライドメント」と言います。これによりオーバートリートメントを避け、術後疼痛や象牙質知覚過敏症など有害事象の抑制に繋がるため、最小限の侵襲で最大の治療効果を得ることが大切というわけです。

そこで本講演では、デブライドメントを効果的に行うために、その概念とSRPとの使い分け、状況に応じた器具の選択、臨床的アプローチのコツについて、歯周基本治療を中心に分かりやすく解説いたします。

講演2 (135講堂 9:00~10:20)

歯科補綴治療におけるデジタル技術の使用

日本歯科大学 生命歯学部 歯科補綴学第1講座 教授 隅田 由香



日本歯科医師会が掲げる5つの柱には、疾病予防や重症化予防、地域医療の推進、質の高い医療提供体制の確保、個人の健康づくり支援、多様なニーズへの対応と社会貢献が含まれ、歯科医療者の役割は一層多様化していきます。この背景には、超高齢社会の到来があり、健康寿命の延命を可能とする、歯科医療への期待の高まりがあります。しかし一方で、歯科治療の根幹を担う歯科技工士の不足、

今後の歯科医師人口の減少は社会問題です。口腔内スキャナーや3Dプリンティング、AIを活用したデジタル技術の導入がその解決策の一つとなりうるものの、高額な機器導入費用や技術の標準化などは課題です。

本講演では、各種デジタル技術を融合を手段とした、社会問題解決の糸口を、諸先生方とともに模索させていただければ幸いです。

講演3 (131講堂 10:45~12:05)

インプラント治療における当科の役割
～25年間の変遷～

日本歯科大学 附属病院 口腔インプラント診療科 教授 小倉 晋



当科は1991年1月に大学病院としては最初のインプラント専門の診療科として設立され、2024年で開設33年目になる。設立以来インプラント希望患者のみならず高次医療機関として責務を担ってきた。

現在、インプラント治療は欠損補綴の第1の選択肢であるといっても過言ではない。しかし、未だ様々なトラブルに至っている症例・事例が散見され

る。インプラント治療に関わっている歯科医院は約24,000施設であり、最近3年間の当科新来患者を検索すると、特に問題を抱えていない患者を含め約25%がインプラント治療の既往があった。

本講演では、大学病院での他院からの問題時の対応方法の概要、自院での合併症・偶発症の対応方法を例に挙げ、再度、安全安心なインプラント治療を行う際の検査診断、治療計画の重要性を確認したい。

講演4 (135講堂 10:45~12:15)

舌骨の位置で顎位を制御する

日本歯科大学 名誉教授 丸茂 義二



舌どこにあるべきかという命題がある。正しい口腔機能の者では舌尖は下顎前歯の舌面に接触しているが、これは舌骨の正しい位置が作り出す結果としての舌態である。舌を口蓋に接触させ続けようとすることは舌骨位置の悪化を招く。乳児の吸啜期は舌骨が舌を口蓋に押し付けている。吸啜期は舌骨の可動性が著しく低い必要があって短頸という頸が短い構造をもっている。この短頸から頭位の正中と身体の正中が一致しない状態のまま成長するこ

とで口蓋や歯槽突起のさまざまな歪みが発生することになる。これは成長途上で育児の不備等によって身体重心の偏りが出た場合に舌が口蓋正中から偏位したまま口腔が育ってしまうからである。この偏位の結果としての口蓋不正形態を演者が開発した装置によって補正すると頭位と舌は正しい位置関係を得ることが判明した。今回は口蓋形態のもたらす影響としての舌骨の位置不良と口腔機能異常の解決策としての方法論を考察したい。

講演5 (131講堂 13:45~15:05)

アルツハイマー病の発症・進行予防を目指した「攻めの歯科医療」
～基礎研究から見てきた歯科医療の新たな可能性～

日本歯科大学 新潟生命歯学部 高齢者医療学 教授 道川 誠



以前より歯周病や歯牙欠損と認知症との関連が、多くの疫学研究によって指摘されてきたが、両者を結ぶ因果関係の分子基盤は明らかではなかった。私は、13年前からアルツハイマー病 (AD) モデルマウスを使って、AD 分子病態と歯科疾患に関する研究を行ってきた。その結果、歯周病や歯牙欠損・咀嚼機能障害は、いずれも認知機能障害を増悪させること、驚くべきことにその分子メカニズムが異なることを明らかにした。

歯周病マウスでは、口腔内炎症が脳内に波及し、脳内炎症が AD 分子病態を増悪させたが、歯牙欠

損や咀嚼機能障害では、AD 分子病態には影響せずに、海馬神経細胞を減少させたのである。これらの結果は、AD の発症・進行予防を考える際には、歯科疾患別のアプローチが有効であることを示している。

AD 患者に、どのように歯科医療を提供するかは非常に重要な問題であるが、ある意味で“守りの歯科医療”といえるのではないか。私は、そうした守りの歯科医療だけでなく、歯科疾患の予防・治療によって AD の発症や進行を抑止する”攻めの歯科医療”の可能性を指摘したい。

講演6 (135講堂 13:45~15:05)

睡眠時無呼吸に対する歯科の対応

～口腔内装置治療の勘所～

日本歯科大学 新潟病院 総合診療科 教授 猪子 芳美



閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) は、いびきや無呼吸を頻発する疾患で、未治療で放置すると心筋梗塞や脳梗塞の原因になるだけでなく、昼間の激しい眠気のために交通事故や仕事上のミスの原因にもなります。OSA に対する歯科が関われる治療法は、下顎を前方に位置させる口腔内装置です。OSA 用の口腔内装置が社会保険診療報酬に導入されてから20年が過ぎ、医科からの紹介で歯科での対応が、求められております。しかしながら、現在、

活躍されている歯科医師の諸先生に於かれましては、睡眠に対する教育を十分に受けていないことも事実だと思われまます。そこで本講演では、OSA 治療を進めるための医科との連携に必要な OSA に関する基本的な知識、実際の口腔内装置の製作方法、治療における副作用への対応、口腔内装置の治療効果判定などについて、その勘所を丁寧でわかりやすく解説させていただきます。

講演7 (131講堂 15:30~16:50)

しない！させない！ハラスメント

～医療分野ハラスメントのメカニズムと対応法～

日本歯科大学 附属病院 総合診療科4 教授 岡田 智雄



毎日のように、ハラスメントに関するニュースが流れて来ます。ある調査では、最もパワーハラスメントが多い業種は「医療・福祉」分野であったという報告があります。

医療分野ではスタッフへの教育が必須ですが、「指導・育成」と思ったアドバイスが、「ハラスメント」と受け取られてしまうのは、なぜか？ どこまでが「指導」で、どこからが「パワハラ」か？ ここにはある程度の規準があり、これを踏まえ適切に指導

を行うことが重要です。

そこで医療現場で起きるハラスメントの類型とそのメカニズム、ハラスメントにならない指導のポイント等について、医療分野で起きたハラスメントの裁判例も含め、具体的にご紹介いたします。また最近話題のカスタマーハラスメントについても触れたいと思っています。スタッフ全員が生き活きと医療に専念できる、心理的安全性が確保された明るい職場のために、ご活用いただければ幸いです。

講演8 (135講堂 15:30~16:50)

オーラルフレイルと臨床歯科栄養学

日本大学松戸歯学部 口腔外科学講座 教授 石井 良昌



令和6年診療報酬改定より、医科に「リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算」が新設された。

口腔は消化管の入り口であり、歯科医師が口腔の状態を考慮した栄養管理と、栄養状態を考慮した『食べること』につながる歯科臨床を提供する「臨床歯科栄養学」が重要である。口腔機能のなかでも咀嚼機能低下は、①タンパク質低栄養は、筋肉量低下し、サルコペニア・フレイルとなり、転倒・骨折、要介護状態への流れ、②糖質偏重食は、グリセミックロー

ドが増加し、食後高血糖・耐糖能異常、糖尿病関連合併症・生活習慣病となり NCDs への流れとなるため、咀嚼機能の回復は重要である。しかし義歯やインプラントなどで咀嚼機能が回復されていても、舌などの筋力が低下し食べることもままならない症例も散見されている。

健康寿命延伸にはオーラルフレイルや口腔機能低下症の管理が重要であり、本講演では口腔の状態と栄養や食事に関する臨床的效果も考えてみたい。

テーブルクリニック1 (臨床実習室 10:45~12:05) 定員12名

日常の歯周治療に歯科用炭酸ガスレーザーを使ってみませんか？

日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座 講師 村 檉 悦 子



国内での普及率が高い歯科用炭酸ガスレーザーは、歯肉の切開・止血、不良肉芽組織の蒸散、歯周ポケット内壁の蒸散・殺菌など、従来の歯周治療と併用もしくは単独での治療が可能である。また、全身疾患の既往を持ち、観血処置が困難な患者においても非外科的歯周療法として、歯周組織の炎症のコントロールにも有効とされている。炭酸ガスレーザーの特性を知り、正しい知識とスキルを踏まえて、日常の歯周治療に炭酸ガスレーザーを単独もしくは

併用する事により、術者と患者に対し非常に有益な治療結果もたらすと期待する。

本テーブルクリニックでは、歯科用レーザーに関する基本的知識および炭酸ガスレーザーを用いた症例を紹介、その後、インストラクター指導のもと、ブタ下顎骨などを用いて、実際、炭酸ガスレーザー機器を手に取り、日常の歯周治療に応用可能な炭酸ガスレーザーの実習を予定している。

テーブルクリニック2 (臨床実習室 13:45~15:05) 定員10名

プロビジョナルレストレーションの真髄 ～臼歯編～

日本歯科大学 附属病院歯科技工科 医療職員(歯科技工士) 飯 島 孝 守



CAD/CAM 機器の誕生により、補綴装置の製作方法が大きく変化してきている。特に臼歯部においてはCAD/CAM 冠の臼歯部への適応拡大やCAD/CAM インレーの導入などにより、デジタル化の傾向が顕著である。CAD 上での歯冠形態の設計は手技によるワックスアップとは異なり、コンピュータにより提案された歯冠形態を微調整することで形態が作れてしまう。そのように製作された歯冠形態は一見問題が無いように思えてしまうが、患者の口腔内で十分に機能しない場合がある。臼歯部

は前歯部と比較し機能的な要件に重点をおき、その中でも咬頭嵌合位時の咬合面接触点や側方運動時の早期接触については留意する必要がある。更に咬合の安定を図るにはプロビジョナルレストレーションの段階から調整するのが最善であると考えている。

そこで今回の講演では、実際にプロビジョナルレストレーションを用いて臼歯部の形態修正を行い、咬合面の接触点の位置や溝の走行等について理解を深めていただきたい。

テーブルクリニック3 (臨床実習室 15:30~16:50) 定員16名

コードレスモーターを用いたNiTi ロータリーファイルによる根管治療

日本歯科大学 生命歯学部 歯科保存学講座 講師 西 田 太 郎



一 ッケルチタン製ロータリーファイル(NiTi ファイル)は適切に用いることで、石灰化などにより穿通困難となった細い根管を短時間で拡大形成することが可能となる。しかし、不用意なNiTi ファイルの使用は器具破折や根管にレジを形成し、新たな問題を生じることもある。従来から、グライドパス形成を行ったのちにロータリーファイルによる拡大形成を行うことで、偶発症の発生を予防している。

また、NiTi ファイルの使用にあたりトルクコントロールモーターの使用は欠かすことが出来ないが、現在はコードレスでかつ電氣的根管長測定機能の付与された充電式のモーターも発売されている。

本テーブルクリニックでは、コードレスタイプのトルクコントロールモーターを用い、made in Japan のNiTi ロータリーファイルによる根管の拡大形成を体験し、習得してもらえれば幸いである。

デンチャーケアにおける義歯安定剤と義歯洗浄剤について

Haleon ジャパン株式会社 エキスパートセールス 宮川 亜理子



内閣府発表の令和6年版高齢社会白書によると、高齢化率は29.1%に達しており、4人に1人以上が65歳以上であることから、今後、高齢者に対するオーラルケアの指導および情報提供が益々重要となります。残存歯のプラークコントロールはもとより、適切なデンチャープラークコントロールの指導、更には、高齢者の「噛む」機能の維持・向上のための口腔管理も重要となります。デンチャー使用者においては、義歯安定剤が有効活用されていますが、義歯安定剤を未だ否定的にとらえている歯科医療従事者も少なくありません。その原因の1つとして、義歯安定剤には適合の良いデンチャーに使用さ

れる義歯安定剤と適合不良のデンチャーに使用される義歯安定剤があることが周知されていないことが考えられます。義歯安定剤はISO 10873の国際規格で、Glue type (粘着型) と Liner type (密着型) のまったく異なる2タイプが定義されており、デンチャーの適合状態によって使用するタイプが異なります。本セミナーでは、国内外で示されている最新の義歯安定剤に関するガイドラインと、義歯安定剤のタイプ別の性状、特徴、更に患者さんが有効活用するためにどのような点に注意し指導すべきかについて、義歯洗浄の重要性とともにご紹介いたします。

MEMO

学術フォーラム2025申込方法について

参加費無料枠も設けております
皆様のご参加をお待ちしております

1. 受講料：事前申込 期限：令和6年12月9日(月)～令和7年3月17日(月)

事前	当日	対象者（受講資格）
¥12,000	¥15,000	校友会会員
¥20,000	¥25,000	非会員（校友会未入会者、他校卒）
¥5,000	¥8,000	歯科衛生士、歯科技工士
無料	無料	110回～113回の本学卒業生（校友会会員） 大学院生、学生、本学附属病院および新潟病院 臨床研修医（本学校友に限る） ※当日受付にて身分証明書をご提示下さい。

2. 申込方法

- ①FAX：申込用紙に必要事項を記入のうえ、送信してください。
申込用紙は校友会ホームページからダウンロードできます。
- ②校友会ホームページ：学術フォーラム申込フォームからお申込みください。
申込用紙のQRコードからホームページにアクセスできます。
- ③メール：申込用紙と同様の内容を明記の上、校友会のアドレスにお送りください。

振込確認後に受講票をお送りいたします。なお、お申込日から1週間以内にお振込の確認ができない場合はキャンセルとさせていただきます。

3. 振込

受講資格ごとに所定の金額を下記までお振込ください。

振込先：三菱UFJ銀行 神楽坂支店 口座番号（普）0735944
日本歯科大学校友会 会長 渡邊儀一郎
振込締切：令和7年3月17日（月）

*振込手数料は各自でご負担ください。なお、お振込いただいた受講料は原則として返金できません。止むを得ずご欠席される場合には、代理受講可能です。代理の方は、申込者と同等の受講資格を証明できるものをお持ちください（受講資格が異なる場合は差額を徴収させていただきます）。確認できない場合には、非会員扱いとなります。

4. その他

- ①テーブルクリニック
受講は申込（振込完了）順に、校友会会員を優先的に受付けます。
- ②ランチョンセミナーについて
受講申込者に限り昼食をご用意します（先着100名まで）。
- ③日歯生涯研修カード
日本歯科医師会生涯研修事業に認定されております。研修カード（ICカード）をお持ちの方はご持参ください。
- ④校友会各種手続き
当日は会場にて入会や会費未納分の支払い手続き等が可能です。この機会をご利用ください。
※109回卒（卒業時に入会）の先生は、令和6年5月をもって会費一括納入期間が終了しました。
未納期間が2年を経過した場合には退会となりますのでご注意ください。

5. 申込・問い合わせ先

〒102-8159
東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学校友会
TEL 03-3261-8971/FAX 03-3264-8745
アドレス honbu@koyu-ndu.gr.jp 校友会ホームページ <https://koyu-ndu.gr.jp/home/>

学術フォーラム2025

ファックス申込用紙

【申込FAX番号】 03-3264-8745



QRコードからも
申込みできます。

ご記入欄	受講者氏名 <small>ふりがな</small> 卒業回数 (回)			
	非会員・他校卒の方はご紹介者名をご記入ください。 ご紹介者名			
	受講者住所 (受講票送付先) 〒 □□□□ - □□□□			
	TEL : (日中連絡先)	FAX :		
E-mail :				
受講資格	<u>※該当箇所に○をつけてください</u>		事前	当日
	A.	校友会会員	¥12,000	¥15,000
	B.	非会員 (校友会未入会者・他校卒)	¥20,000	¥25,000
	C.	歯科衛生士・歯科技工士	¥5,000	¥8,000
	D.	110回~113回の本学卒業生	無料	無料
	E.	本学大学院生		
	F.	日本歯科大学附属病院および新潟病院臨床研修医 (本学校友に限る)		
G.	本学学生 ※当日受付にて身分証明書をご提示ください。 【TC実習参加希望の方は上記A~Cの資格でお申し込みください】			
※お申込後、1週間以内にお振込の確認が出来ない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。申込締切 (3月17日) 以降は当日受付扱いとなります。当日受付は、受講料が高くなりますので、事前のお申込、お振込をお勧めいたします。				

テーブルクリニックの実習参加は事前申込が必要です。

各回の定員をご確認のうえお申込下さい (申込・入金済の方から先着)。

下記表に第1、2希望までをお書き下さい (例: 第1希望→①)。第1希望がすでに定員の場合は自動的に第2希望の受講となります。

実習参加決定者には、決定したテーブルクリニックの講師名・時間を記載した受講票をお送りいたしますのでご確認下さい。

テーブルクリニック実習受講

※第1、2希望までをお書き下さい。(例: 第1希望→①)

本館7F 臨床実習室・臨床講義室			定員	希望順位
TC1	10:45~12:05	村樫 悦子 講師	12	
TC2	13:45~15:05	飯島 孝守 講師	10	
TC3	15:30~16:50	西田 太郎 講師	23	

※第1、第2希望どちらも
受講されますか?

- A. どちらかで良い
B. 可能なら両方受講したい

ランチョンセミナー受講

※ご希望の方は○をお付け下さい。事前申込者に限り昼食をご用意いたします (先着100名)。

LS	12:30~13:30	宮川亜理子	希望する
----	-------------	-------	------